

〈新年会1月定例会報告〉

(有)小池産業、小池昇氏の司会進行のもと、恒例となった八王子市役所食堂での新年会が行われた。中山会長の新年の協議会への抱負を交えた年頭挨拶に続きご来賓の挨拶を頂いた、東京都労働経済局商工振興部工業振興課、土屋満昭氏、八王子市経済部商工観光課長川上健一郎氏、八王子商工会議所ファッション都市推進部長高松行雄氏、また現在建設が進んでいる八王子みなみ野シティ住宅都市整備公団高松数則氏、協議会への大きな期待を述べられた。

歓談に入り小山織物、小山典男氏の進行で出席会員の自己紹介を兼ねたスピーチが行われ、盛り上がり閉会した。

参加者35名

〈岡本先生を囲む新年フォーラム報告〉

ファッション協議会副会長 宮本英治

「イタリア中小企業の具体的事例から生き残るには何が必要か」をテーマに開かれた。我が国の繊維産業と比べイタリアの繊維産業には4のポイントがある。

1. 産業集積

ピエラ、プラトー、コモ、バレーゼを始め特徴を持った産地が点在しており、家内工業的企業がその殆どを占めている。そして、それぞれの産地には様々なネットワークがあり、インパナトーレ、プロジェクトスタなどコーディネーターにより、スケールメリットプラス多様性を持った産地として確立している。しかし産地間の交流は殆どなくそれぞれ独自の道を進んでいる。

2. グローバル性

中央ヨーロッパ市場に至近な為、古くから国際市場を視野に入れた活動をしている。またその為、テールなど世界的情報収集力が強力である。

3. メルカートシステム

様々な小売業の形態があり、その典型がナポリである。そして特に強調すべき形態はメルカートシステムと言う大規模露店街である。ここには衣・食・住の露店があり最終処分場としてブランド物の売れ残った商品が販売されており、不良在庫を持たないシステムが確立している。

4. 教育

産学協同による技術開発や後継者育成のための大学を始めとした教育施設がそれぞれの産地に充実している。そしてそれらは業界のバックアップのもと成り立っている。

以上の他に国民一人一人がしかりとしたアイデンティティーを持ち、さらに文化を重視することによるピエンナーレが盛んに開催されるなど文化性我が国に比べて高く、そのことが創造性にも反映している。

又、繊維製品の生産者一人当たりの付加価値が高いことが後継者育成に深く関わっている。

る事も我が国産地との大きな違いであろう。以上先生のお話を要約したが日本のシステムとの違いがかなり明確に理解できました。これをすぐに日本へと言うのは難しいかもしれませんが、この話の中で我々が進めるべき道は見えてきた様に思います。それは

1. 的確な情報のもと時代性を反映した創造力。
2. 高付加価値を生むための流通改革と販売強化。
3. 技術開発や後継者育成の為の教育システム。

これら3点、大変重要だと感じました。これらを協議会の中でさらに具体的に検討し進めていければと思います。

〈八王子ファッション協議会会員紹介〉

会員名 岡村秀基 会員番号NO18
会社名 岡村織物
住所 〒192

東京都八王子市中野上町1-16-20

TEL 0426-22-1706

FAX 0426-24-4143

国道16号、浅川橋を少し西に入った所に、作業場兼住居があり近所にはファッション協議会のメンバーの奥田さん、嶋野さんの工場もあり子供の頃から繊維の関係の町で生活してきました。織物の仕事を始めてまだ10年、5年ほど前から今の形態に、現在ネクタイの製織が主で他の生産については秘密。ある程度の長期、短期の計画を立て機械設備については、3~5年を目安に行っています。周りの環境に恵まれている為働きたいときに働き、休みたい時休み、そして自分の織りたい物が作れたり、かなり自由がきくため楽しく仕事ができる工場です。

〈2月定例会のご案内〉

流通委員会(株)松本商店 松本義弘氏のご努力により下記の如く(株)伊勢丹マーチャンダイジング統括部部长福島哲夫氏をお招きし講演会を行います。

ふだんでは聞けない大変貴重なお話を伺うことができるとおもいます。本年始めの講演会です多くの参加をお願いいたします。

記

日時 2月4日(火) pm6:30-8:30

場所 都立繊維試験場 2F会議室

内容 流通委員会主催

◇講演会

(株)伊勢丹マーチャンダイジング統括部部长
福島哲夫氏

テーマ ・伊勢丹の高島屋対策秘話

・伊勢丹(百貨店)が産地に望むこと

※伊勢丹との商談希望の方ご参加下さい。

◇第六回展示会について

◇その他